

IV 関係機関からの情報

	職種	機関名	検査結果	診断/所見	助言/指示内容
医療・療育機関	医師	C療育センター(整形)		脳生筋の診断	障害の大きな改善は難しい。今後、拘縮等2次障害の予防を。
		A病院(小児科)	筋波にはまだ異常波がみられる	てんかん発作は薬でコントロールできている	特に制限や配慮は必要ない。
	理学療法士	C療育センター		骨盤や肩甲骨周辺の緊張が強く、動きが出にくい。	長時間同じ姿勢でいることは避ける。
	作業療法士	C療育センター		机上での作業で緊張が出やすいため、姿勢に配慮が必要。	斜面台を利用し筆記具を使う。色々な素材や道具を扱う経験を積む。
	言語聴覚士	C療育センター		中枢性の運動障害のため構音が不明瞭になる。	不明瞭な構音は、訓練で大きく改善することは難しい。代替コミュニケーションも考えていく。
	視能訓練士				
	心理士				
	ソーシャルワーカー				
	保育士指導員				
	相談機関	心理判定員	児童相談所		軽度の知的障害
相談員		教育センター		空間の位置や関係、語や文の関係がうまく捉えられない。	部分から全体へ、段階的な指導が必要。順序や方向を言葉でも援助する。
	記入日			記入者	

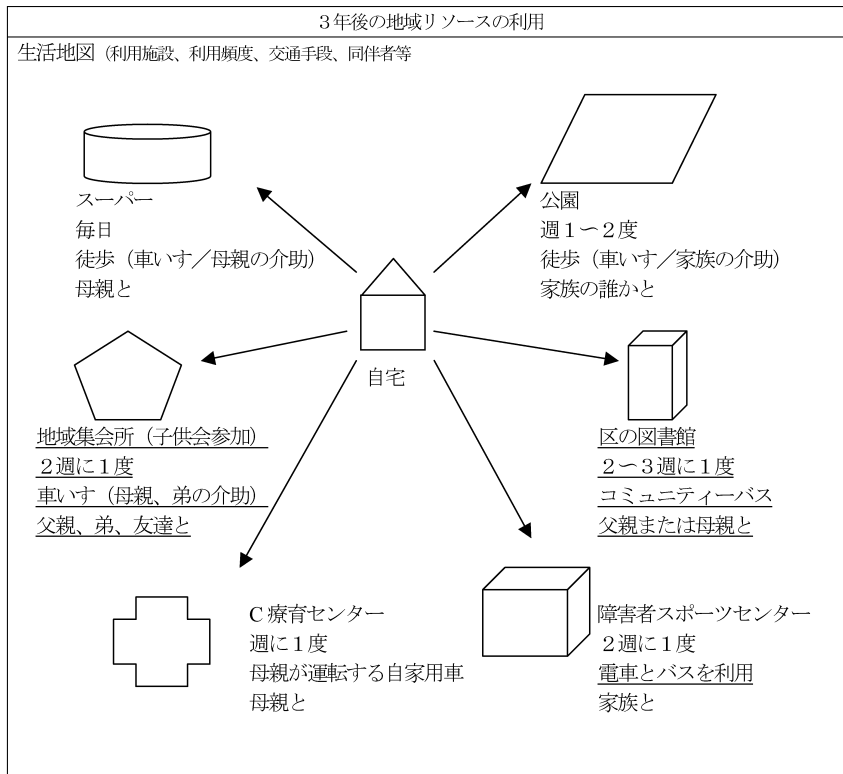
V-1 家庭生活での課題

3年後の生活(平日)		3年後の生活(休日)	
時間	活動	時間	活動
7:00	起床(目覚ましをセットし自分で)洗面 朝食	8:00	休日の過ごし方は前日までに家族と話し合っ て決める
8:10	登校(集団登校)母親の付き添い		起床 自分で起きてくる 洗面 朝食
(16:00)	下校時間 は母親と相談して決める	10:00	スポーツセンター <u>電車、バス</u> で移動 プール(父、母、弟と)
	「いきいき放課後活動」の部屋へ母親が迎えにいく 買い物 母親の介助でスーパーへ	12:00	昼食 弁当または食堂利用
17:00	帰宅 宿題 入浴までの過ごし方を自分で決める	13:00	センター内でボーリング(父、母、弟と)
19:00	入浴(一人で入浴)	15:00	帰宅 入浴までの過ごし方を家族と相談し自分で決める(選択肢が複数ある)
19:30	夕食	19:00	入浴 一人で
20:15	就寝までの過ごし方を自分で決める(パソコンを利用しゲーム等をするなど選択肢が複数ある)	19:30	夕食
21:00	就寝準備	20:15	就寝までの過ごし方を自分で決める(パソコンを利用しゲーム等をするなど選択肢が複数ある)
21:30	就寝	20:45	就寝準備
		21:15	就寝

現在の課題	将来の希望
<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動内容、スケジュールを母親が決めており、本人の意思確認がされていない。 ○ 衣服など身支度は母親がしている。 ○ 本人も意思表示することがほとんどなく、決められたことを指示されて行っていることが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分でできることは自分で行い、できないことは援助を求められるようになってほしい。 ○ 衣服や持ち物の選択を自分でできるようになってほしい。 ○ 自分のしたいことなど意思表示し、1日の過ごし方を家族と話し合っ て決めていきたい。

記入日		記入者		保護者確認	
-----	--	-----	--	-------	--

V-2 地域生活での課題



現在の課題	将来の希望
<ul style="list-style-type: none"> ○ 行き先や目的は親が決めていることが多い。 ○ 自分の希望を表明することがあまりない。 ○ 金銭のやりとりなどの経験がない。 ○ 選択肢が少ない。 ○ 公共交通機関を利用した経験が少ない。(学校行事程度) ○ 家族以外との活動がない。 ○ 外出時は家族の介助が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行き先等は、希望を述べ、家族と話し合って決めたい。 ○ 金銭のやりとりなど必要なことができるようにさせたい。 ○ 活用するリソースを増やしたい。 ○ 公共の交通機関を利用できるようにしたい。 ○ 将来は電動車いすを利用し1人で行動できるようにしたい。 ○ 家族以外の人とコミュニケーションを円滑にとるため、文字盤やVOCAの利用を考えたい。

記入日		記入者		保護者確認	
-----	--	-----	--	-------	--

V-3-1 学校生活での課題1：学習上の課題

	現在の課題	将来の希望	1年後
学 科 習	<p>[国語]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 順序立てて話すことは難しい。選択肢を提示されて質問に答える。伝えたいことを引き出す援助が必要。人物や事柄の関係が正確に把握できない。 ○ 似た漢字を読み誤る。特殊音節の表記が定着していない。点画の長短。 <p>[算数]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 和が10以上の加算はブロックが必要。10のまとまりの理解が不十分。乗法九九を覚えているのは5の段まで。 ○ 単位の読みと表記に誤りが多い。単位の関係の理解が困難。目盛りが読めず、測定ができない。 ○ 作図が困難。辺の長さや直角の理解が困難。 <p>[理科/社会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 計画の立案や、調べた内容の整理に、具体的な質問を通じて引き出す等の援助が必要。 <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 楽器や道具、器具を使用する活動に制限がある。表現活動は、表現したいものが明確でなく、具体的な質問を通じて引き出す援助が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 順序立てて話ができる。 ○ 質問に的確に答えられる。 ○ 伝えたいことを言葉や文章で表現できる。 ○ 文中の人物や事柄の関係が正しくわかる。 ○ 表記が正しくできる。 ※ パソコンでの文書作成を考えていきたい。 ○ 生活の中で必要な加減乗除の計算ができる。 ※ 生活の中での計算機の使用を考えていきたい。 ○ 生活上必要な単位を読んで理解できる。必要に応じて表記できる。 ○ 数字を読んで、角度の違いを具体的なイメージとして持てる。 ○ 調べたことを自分でノートにまとめる。自分でまとめたことを発表する。 ○ 自分で表現する活動に興味を持ち、表現活動を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 語のつながりを意識して文が書ける。 ○ 助詞が正しく使える。 ○ 読める文字を増やす。 ○ 似た漢字を間違えないで読む。 ○ 長音、拗音、促音を正しく表記できる。 ○ 点画の長短を正確に書く。 ○ ブロックを使わずに和が10以上の加算ができる。 ○ 加減の立式ができる。 ○ 乗法九九を言える。 ○ 単位の意味を理解する。単位の読み表記ができる。目盛りを読む。 ○ 直角がわかる。 ○ 具体的な質問を読んで、ノートに答えを記入する。整理の仕方を工夫し、調べたことを自分でまとめられるようにする。 ○ 比較的使用しやすい楽器で合奏に参加する。
	領 域	<p>[自立活動]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実用的な移動手段を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電動車いすを使用させたい。
そ の 他			

記入日		記入者		保護者確認	
-----	--	-----	--	-------	--